



味り緑よ



①お茶体験施設「グリーンピア牧之原」で開催された協賛イベントの茶摘み体験②約400人が参加した「富士山静岡空港まきのはらウォーク」。新緑の中、飛行機の離着陸を眺めながら、約10kmをウォーキング③情緒ある雰囲気の中でゆったりとした時間が流れる石雲院での茶会④17の国・地域、25品の茶道具とお茶を展示⑤式典に先立ち、県内茶産地の茶娘が県知事に新茶を贈呈⑥市のブースで新茶をおいしそうに味わう来場者⑦スリランカのセイロンティーなど普段あまり味わう機会のないお茶も満喫⑧平形教授による「茶の都しずおか」の書⑨先日結成された「nozomiガール『NEed』」もステージ出演し、歌とダンスで会場を盛り上げた

世界お茶まつり2013
春の祭典
DCHA
2013



世界お茶まつり2013 春の祭典が八十八夜の5月2日から、5日まで富士山静岡空港や県内各会場で開催され、約2万8500人の来場者がお茶に関連したさまざまなイベントを楽しみました。世界お茶まつりは、3年に一度開催される世界最大級のお茶イベント。平成13年から県内で開催され、これまでは秋に実施していましたが、新茶時期に合わせて、今回から春秋2回の開催になりました。空 港や石雲院では、日本、中国、韓国など国内外の茶愛好家が来場者をもてなす世界大茶会が開かれ、来場者は趣向を凝らしたお茶を味わいながら、各国特有の茶文化に触れました。空港ターミナルビル内外では、新茶の試飲や地域の特産品の販売を行う「ワールドOICHAマーケット」、世界の茶道具展などが開かれ、大勢の家族連れなどで賑わいました。

2日に石雲院で行われた開催記念式典では、「日本・中国・韓国」交流新茶点前や、平形精逸常葉大学教授による書が披露されました。

新茶の香りに包まれ、多くの来場者は、「味緑」たっぷりのお茶を楽しみました。